



おにぎり通信

2010年5月29日(土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

わたし まいしゅうどようび よつ やしゅうへん ぎんざ ひび や こうえん とうきょうえきしゅうへん
こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷周辺と銀座・日比谷公園、東京駅周辺
せいかつ かがた ほうもん
で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

5月(ごがつ)は藤の花(ふじはな)が美しい姿(すがた)を見せてくれる季節(きせつ)です。万葉集(まんようしゅう)にもたびたび歌わ
れた日本(にほん)古来(こらい)の花木(はなき)です。藤の花(ふじはな)という(いふ)と紫色(むらきいろ)を思い浮か(おも)べますが、実際(じっさい)には、
うすべに藤(ふじ)、むらさき藤(ふじ)、しろふじ、きばな藤(ふじ)と、さまざま(いろ)な色(いろ)があるそうです。真(ま)っ
しろ ぶじ な はな ま きいろ ふじ いちどみ
白(しろ)な藤(ぶじ)、まるで菜(な)の花(はな)のような真(ま)っ黄色(きいろ)の藤(ふじ)を一度(いちど)見(み)てみたい(みたい)ものです。

まさおかしき たんか びん ふじ はな
正岡(まさおか)子規(かしき)の短歌(たんか)に「瓶(びん)にさす藤(ふじ)の花(はな)ぶさみじかければ たたみ(うえ)の上(うへ)にとどかさ
りけり」という(いふ)もの(もの)があります。結核(けっかく)を患(わづら)っていた子規(しき)が病(びょう)床(しょう)で詠(よ)んだ歌(うた)です。
ふじ やまい とうじ おか しき おも つた たな
不治(ふじ)の病(やまい) (当時(とうじ)は)に冒(おか)された子規(しき)の思(おも)いが伝(つた)わってきますが、柵(たな)をしつらえ、
じゅうぶん ようじょう すうひやくじょう およ おおだな たき くだ すがた
十分(じゅうぶん)に養生(ようじょう)してやると、数(すう)百(ひやく)畳(じょう)にも及(およ)ぶ大(おお)棚(だな)にな(な)ったり、滝(たき)のよう(よう)に下(くだ)る姿(すがた)
をみせてくれます。藤(ふじ)はツル性(せい)の植(しょく)物(ぶつ)で、支(さ)えなし(なし)には自(じ)立(りつ)する(する)ことができ(でき)ませ
ん。子規(しき)も病(びょう)身(しん)の支(さ)えを必(ひつ)死(し)に求(もと)めていた(いた)のでし(し)ょう。

☆ 福祉行動報告 5/17

Aさん(59歳) あし いた ちりょう びょういん む
足(あし)の痛(いた)みの治(ちりょう)療(りょう)のため、病(びょう)院(いん)に向(む)か(か)われ(れ)まし(し)た。

Bさん(48歳) りょう にゅうりょうきぼう あ すいようび にゅうりょう
寮(りょう)へ(へ)の入(にゅう)寮(りょう)希(き)望(ぼう)。空(あ)き(き)が(が)あ(あ)れ(れ)ば(ば)水(すい)曜(よう)日(び)に(に)入(にゅう)寮(りょう)
よてい ちゅうせん も ぼあい せいかつほごしんせい よてい
予(よ)定(てい)。抽(ちゅう)選(せん)に漏(も)れ(れ)た(た)場(ば)合(あ)い(い)には(は)生(せい)活(かつ)保(ほ)護(ご)申(しん)請(せい)の(の)予(よ)定(てい)。

Dさん(60歳) せいかつほご しんせい こうせいしせつ にゅうしょよてい
生(せい)活(かつ)保(ほ)護(ご)を(を)申(しん)請(せい)さ(さ)れ(れ)、厚(こう)生(せい)施(し)設(せつ)に(に)入(にゅう)所(しょ)予(よ)定(てい)。

じかい ふくしこうどう がつ にち とうきょうえきまる うちきだぐち の ばまえ あさ
次(じ)回(かい)の福(ふく)祉(し)行(こう)動(どう):5月(ご)31日(にち)(月)、東(とう)京(きょう)駅(えき)丸(まる)の内(うち)北(きた)口(ぐち)タ(た)ク(た)シ(し)ー(し)乗(の)り(り)場(ば)前(まえ)に、朝(あさ)
じはん しゅうごう
8時(じ)半(はん)ま(ま)で(で)に集(じゅう)合(ごう)で(で)す。

びょうき やケガの治(ちりょう)療(りょう)を希(き)望(ぼう)さ(さ)れ(れ)る(る)方(かた)や、体(からだ)を休(やす)め(め)たい(たい)方(かた)と一(いっ)っ(っ)しょ(しょ)に(に)福(ふく)祉(し)
じむしょまで、ボランティアが同(どう)行(こう)い(い)た(た)し(し)ます。福(ふく)祉(し)行(こう)動(どう)は原(げん)則(そく)と(と)して
まいしゅうげつようび おこな ふくしこうどう さんか かつ
毎(まい)週(しゅう)月(げつ)曜(よう)日(び)に(に)行(い)い(い)ます。福(ふく)祉(し)行(こう)動(どう)は参(さん)加(か)さ(さ)れ(れ)る(る)そ(そ)れ(れ)ぞ(ぞ)れ(れ)の(の)方(かた)が、ご
じしん きぼう じしん ことば ふくしじむしょ つた
自(じ)身(しん)の希(き)望(ぼう)を(を)ご自(じ)身(しん)の言(こと)ば(ば)で(で)ハ(ハ)ッ(ッ)キ(キ)リ(リ)と(と)福(ふく)祉(し)事(じ)務(む)所(しょ)に(に)伝(つた)え(え)る(る)こ(こ)と(と)に(に)よ(よ)
り成(な)り(り)立(た)ち(ち)ます。

もより ふくしじむしょ
最寄の福祉事務所

ちゅうおうくふくしじむしょ ちゅうおうくつきじ ちゅうおうくやくしよ かい
中央区福祉事務所・・・中央区築地 1-1-1中央区役所4階

ちよだくふくしじむしょ ちよだくくだんみなみ かい
千代田区福祉事務所・・・千代田区九段南1-2-1 3階

さんやろうどうしゃふくしかいかんかつどういんかい つく さんや のじゆくしゃ しつぎょうしゃうんどうほうこく
山谷労働者福祉会館活動委員会が作る「山谷ブログ-野宿者・失業者運動報告」

に、50ちょっとすぎのGさんの話^{はなし}が載^のっていました(ブログ作成日時：2009/12/07)。

てはい うえのこうえん じょうけん げつまつばら につきゅう えん りょうひ えん
「手配は、上野公園。条件は20日^めの月末払い、日給9000円マイナス寮費3000円

でした。雇い入れ通知書はもらってません。一^い昨年^{ねん}の3月^{がつ}から今年^{ことし}の5月^{がつ}まで、

にねん おな はんば つき で しごと いっしゅうかん か
二年^にちょっと同じ飯場^{はんば}にいました。ひと月^{つき}に出^でた仕事^{しごと}は、一週間^{いっしゅうかん}から14日^かくら

いでした。ところが今年^{ことし}(2009)の1月^{がつ}ころから出^でなくなって、月^{つき}に3日^かとか5日^か

とか。それで、金^{かね}をもらわずに自分^{じぶん}から飯場^{はんば}を出^でました。飯場^{はんば}は、XX県^{けん}(東京^{とうきょう}に隣接^{りんせつ}

する県^{けん})の山^{やま}の中^{なか}にありました。1人^{ひとり}部屋^{べや}で、飯場^{はんば}全体^{ぜんたい}で10人^{にん}くらいが働^{はたら}いて

いました。同じ敷地^{おな}内に、生活保護^{しきちない}の施設^{せいかつほご}がありました。そこには20人^{にん}くらいが

暮^くらしていました。上野^{うえの}、駒形^{こまがた}、浅草^{あさくさ}から人^{ひと}を連れてきて入れてるようでした。

生活保護^{せいかつほご}の施設^{しせつ}も個室^{こしつ}でしたが、ピンハネ^{いまわだい}はひどくて、今話題^{むりょう}になっている無料

定額宿泊施設^{ていがくしゆくはくしせつ}と同じようなものです。飯場^{はんば}で働^{はたら}いている人も、仕事^{しごと}がなくなると

『生活保護^{せいかつほご}の施設^{しせつ}に移^{うつ}れ』と言われてました。私^{わたし}は、そのような施設^{しせつ}で暮^くらすの

が嫌^{いや}だったので自分^{じぶん}から出^でましたが、もしあのまま^{まぢが}いれば間違^{まちが}いなく声^{こえ}がかかっ

たと思います。(後略^{おも})」

さんやろうどうしゃふくしかいかんかつどういんかい はんば せいかつほごしせつ へいせつ ふ
山谷労働者福祉会館活動委員会は、「飯場^{はんば}と生活保護施設^{せいかつほごしせつ}との併設^{へいせつ}が増えていま

す。どちら^{しせつ}の施設^{のじゆく}も、野宿^{なかも}の仲間^{ふあんてい}の不安定^{きょじゅう}な居住^{りじゆん}をネタ^うに利潤^だを生み出す、典型^{てんけい}

的^{てき}な貧困^{ひんこん}ビジネス^{うった}です」と訴^{どういんかい}えています(同委員会HPより)。



おにぎりを包^{つつ}んでいるラップ^よや読み^お終わった通信^{つうしん}は放置^{ほうち}せずに、ゴミ箱^{ぼこ}に
入^いれるなどして片付け^{かたづ}けにご協力^{きょうりょく}をお願い^{ねが}いたします。おにぎりはなるべく
その日^ひのうち^{はや}にお早^めめにお召^あし上がり^{くだ}下さい。

四ツ谷おにぎり仲間^{れんらくさき} 連絡先^{いわた}:090-4959-0652(岩田)

